

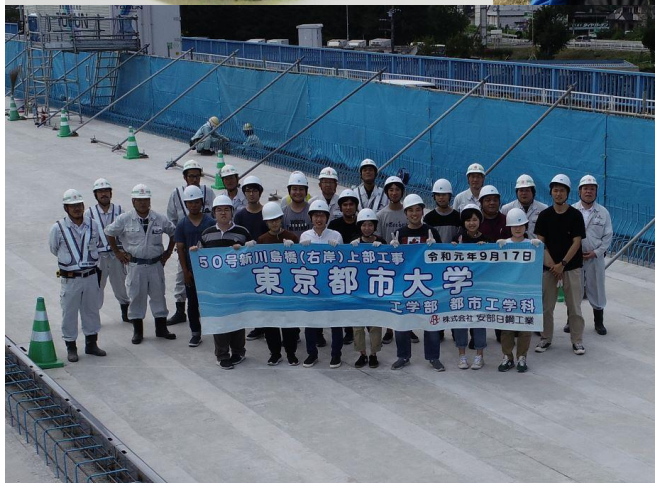
ティーチング・ポートフォリオ

大学名 東京都市大学

所属 建築都市デザイン学部 都市工学科

名前 栗原哲彦

作成日 2021年10月11日



1. 責務

教育活動概略

○授業において

建設主要材料の一つである「コンクリート」を主に講義している。コンクリートに使用される材料やその特性、硬化したコンクリートの特徴・劣化・耐久性などを講義している。

担当科目：

- ・設計基礎（1年、必修）
- ・コンクリートの性質（2年、選択）：コンクリート材料を講義
- ・メンテナンス工学（3年、選択）：コンクリートの劣化・耐久性を講義（白旗先生の鋼の維持管理と半々で講義）
- ・都市設計製図（3年、必修）：RC単柱の耐震設計
- ・事例研究（3年、必修）：コンクリート工学に関する事例調査研究
- ・卒業研究（4年、必修）：コンクリート工学に関する研究
- ・コンクリート工学特論（選択、修士）：学部科目「メンテナンス工学」をより詳細に講義

○教育活動について

学科内においては JABEE 担当として、学科内の教育改善活動の進行役を担っている。また、FD 推進センター副センター長として、学内の FD 活動の企画・運営を行っている。

○課外活動について

バスケットボール部顧問として、学生の課外活動の支援を行っている。

2. 理念

- ・学生から見たときに、質問しやすい教員、学生との距離が近い教員と覚えてもらえるように、学生対応をしている。
- ・コンクリートの科目においては、複合材料としてのコンクリートの複雑さ（バラツキがあり、同じものが作れない）と面白さを感じてほしい。
- ・周囲と連携ができる学生に育ってほしい（グループワーク）

3. 方法

概要

授業において、配布資料はすべてデジタル化し、Webclass を通じて履修生に配布している。そのため、黒板への板書は行っておらず、スクリーンに投影して説明している。

教授方法

- ・スライドを使った授業を実施している（スライドを資料として配布）
- ・前回授業の復習テスト（10分）、講義80分、当日授業の小テスト（10分）を基本配分として授業を

行っている。

- ・演習において TA を雇用し、主に学生からの個別質問対応補助・採点補助を行ってもらっている

授業の工夫

- ・前回授業の復習テスト及び授業終了前に当日授業に関する小テストを実施している。
- ・重要なキーワードなどを空白にした資料を配布し、授業中にスライドでそのキーワードを入れた資料を見せ、資料に書き込ませている（「聞くだけ」を回避したい）。
- ・卒業後、特に、ゼネコンに就職し、現場に配属された場合、必ずコンクリート工事を経験します。このコンクリート工事を行うには有資格者の管理が必要となります。そこで、コンクリート関連の座学科目の演習問題は、外部資格試験（例えば、コンクリート技士、土木学会 2 級技術者資格試験、コンクリート診断士）の出題問題を参考に作成している。
- ・期末試験問題は、授業中に課した演習問題を参考に作成、つまり、上記外部資格試験を参照して作問している。これにより、「よく出る問題」に授業内容や作問が偏る可能性があるため、講義内容のバランスを考え、授業および問題作成を行っている。
- ・「都市設計演習」では、個々に異なった設計条件を与え、カンニング防止（レポートの丸写し防止）につとめている。さらに、授業中の自由発言を許可し、積極的に質問できる／学生通しで教え合える環境を作っている。

授業外の諸活動

- ・アドバイザーとして、各学年の割り当てられた学生に対して履修指導を行っている
- ・卒研生に対して、週 1 回のゼミ等を通じて、研究指導を行っている

自己研鑽

- ・学内 FD 活動に参加（センター委員として企画・運営に従事している）
- ・最新の研究トピックを得るために、学会主催のシンポジウムや講習会に参加

4. 成果

学生の授業評価

授業評価の平均評点は、担当科目すべてにおいて 4 を超えており、それなりの評価を得ていると判断している（しかし、自分の担当以外の他科目も高いのが通常）。また、授業にあてる予復習時間は座学の科目では 1～1.5 時間程度で、CAD の授業では 2.5 時間程度であった。

学生の学修成果

- ・期末試験の結果が、昨年度より高くなった（学生の理解向上？オンラインの害？）。
- ・遠隔授業であったこともあり、学生からの質問が多くなった（Zoom のプライベートチャット）。

自身の成果

- ・遠隔授業のアプリの基本操作を理解した
- ・遠隔授業であったためか、学生一人一人への対応が丁寧にこなせた。
- ・実験系科目において、学生が感じる達成感が減少した(対面での体験型に戻れば改善するであろう))

5. 目標

短期

- ・知識取得に適した演習問題の作成
- ・Webclass を用いた自学自習の促進
- ・質問しやすい環境の検討（対面では質問が出ない）
- ・オンラインツール（Webclass や授業映像、Zoom）などを利用した対面授業方法の検討
- ・実験系科目の対面授業の復活と授業映像の配信

長期

- ・座学科目と実験・演習との連動・連携をより強化していく

【添付資料】

- ・各科目のシラバス
- ・各科目の最終成績結果（含 秀・優・良・可・不可の割合）
- ・各科目の閻魔帳（採点内容）
- ・各科目の配布資料・試験問題
- ・学内 FD の配布資料
- ・学協会の講習会等の配布資料